

奈良・人と自然の会

8月例会 吉野・十津川村自然観察会報告

実施日8月23日～24日

8月23日 近鉄八木駅前にて集合。9時過ぎ奈良交通バスに参加者27名乗車。雨模様の空でしたがどよみにか成ると明るく出発。幹事の司馬遼太郎の十津川についての文章の朗読を聞きながら大淀町に差し掛かる。下市町そして西吉野村の柿の果樹園を右に左に見ながら、大塔村にかかる。先日テレビで放映された宇井の山崩れのため対岸の県道を迂回する。やはり山崩れの現場は恐ろしい。もしも200メートル南であつたら人的損害も出ていただろうと背筋が寒くなる思いがした。

谷瀬の吊橋近くなって小雨が降り出した。傘を差して三々五々吊橋を往復し、橋のたもとの食堂で昼食を取る。だんだんと十津川村らしく谷が狭くなり、バスのフェンダーミラーに葛の葉が蔓ごと引っかかったりするほどである。

次は、笹の滝へ行く予定であつたが取り付き道路の山崩れの為、変更して21世紀の森・紀伊半島森林植物公園へ寄る。公園から見上げる尾根道は南奥駆け道で、奥駆けの法螺貝の音が時々聞こえてくると係りの人が教えてくれる。シャクナゲがたくさん集めてあり山桜も美しいので4月下旬から5月下旬が身頃らしい。公園の端に行くと下は恐ろしいほどのがけであつた。山崩れの崩壊地有効利用建設という意味の看板が立っていた。お客は我々だけであつた。

下山して十津川温泉 昴の郷ホテルに入る。山小屋風の宿泊所だと思っていたが、第三セクター方式の敷地も広く、静かで食事部も部屋も快適な(料金も!)とても良いホテルであつた。幹事の宿の選定に感謝。これが大阪近辺に有ればすぐにでもまた来るのにと、皆で話し合ったものです。

夜中は雨と雷光で心配していましたが、夜明けと共におさまって、なんと良いお天気になったことか!

「玉置山神社」に向けてホテルを8時半出発。標高150m足らずの十津川温泉郷より「玉置山神社」へ向けて標高差約750mをバスは登ります。道は狭く軽トラックとようやくすれ違った時は拍手が起きたほどスリル満点の道でした。「玉置山神社」及び玉置山は、大杉、襖絵、植物植生の豊富さ、見晴らしのよさなどなどどれをとっても一級品でした。これだけの自然が残っていることは、神道という宗教の力と、残した人の心が有つてのことと感謝。

玉置山を下り、川原の広がった新宮川(十津川)を左の車窓から眺めながら熊野本宮社へ、そしてバスの中で昼食を取りながら瀨峡船乗り場へ、2時に到着。2時10分の貸切船で瀨峡へ向けて出発。心地よい川風と快適な乗り心地にとうとうと居眠りをする人も多く、あつとゆうまに瀨峡の山水画の世界へ到着。下船後約100mの崖の階段登りに息を切らす。見下ろす瀨峡もおつなものでした。

迎いのバスに乗り、大和八木に向かって上北山村経由にて帰宅の途に着く。十津川溪谷沿いの道より広く快適に大台ヶ原の下を通る。途中小処温泉にて入浴予定が休館日とわかり、薬師の湯にて一汗拭い、7時半頃に全員無事に到着する。

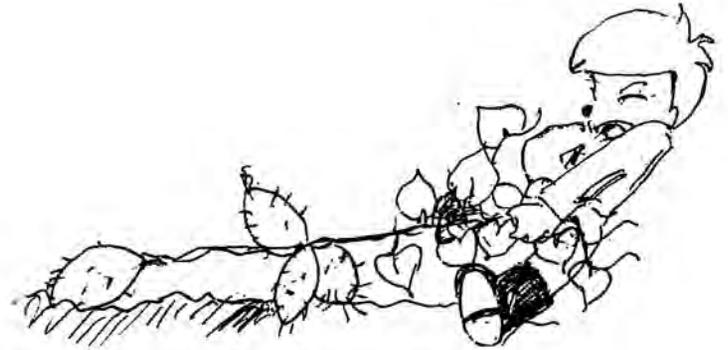
吉野熊野が世界遺産に登録されたこの時、グットタイムに企画された、大変良い観察会であつたと思います。

幹事の皆さんには大変お世話に成りました、色々な御気ずかいありがたく感謝しております。

玉置山神社参道ミニ観察メモ

ミヤマママコナ (シコクママコナの可能性もあり)	オオヤマハコベ	ヒメキンミズヒキ
アキギリ	ヒナノウスツボ	ヤマジノホトトギス
トチバニンジン	オトギリソウ	サワオトギリ
アカバナ	タニタデ	テンニンソウ?
		ゲンノショウコ

記 藤澤美穂



県民フォーラム「環境フェア：みんなでとめよう温暖化」へ出展

樋口 善雄

7月31日(土)に、「環境フェア」が大和高田市の『地域地場産業振興センター』で開催され、「人と自然の会」も協賛出展しました。年を逐う毎に、また回を重ねるごとに来場者総数は、増加の傾向を示し、今年は1,800名余り(政策課調査)と発表されています。(昨年は1,000名弱)

昨年同様に、自然工作を主体とした出展でしたが、私たちのブースにも延べ350名余の人が立ち寄り、工作を楽しんで行かれました。

当会からの出席スタッフは、計9名。

【出展パネル】 ①奈良忍辱山の桧林間伐 ②南生駒西畑地区の棚田復活作業

【出展工作】 ①セミ丸くん ②鳩笛 ③バードコール

昨年に比べ2倍の材料がPM3:00には消化され、スタッフ一同は手持ちぶさたになった次第。来年は出展パネルの枚数をもっと増やして、一般への啓蒙を図っても良いと思われた。

ボランティア活動保険について (2)《前号の追加》

下記を追加いたします。

対象となるボランティア活動とは

日本国内における「自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」をさします。従って対象地区は奈良県に限定されず、国内全域で、かつ奈良・人と自然の会の企画された行事のみならず、会をはなれて、個人が実施した上記の括弧内の活動をも含みますので、念の為。

文責 大石門三

奈良・忍辱山森林整備作業に参加して

中畑 進

奈良市の春日山原始林を取り囲むように 大慈山（だいじせん） 忍辱山（にんにくせん） 菩提山（ぼだいせん）といった宗教的な地名の村があります。菩提山には正暦寺（しょうりやくじ） 忍辱山には円成寺（えんじょうじ）という有名なお寺があり 春や秋には多くの人を訪れます。

私とその一つ忍辱山国有林で寺田正博さんたちの指導の下に森林整備のボランティアを始めて半年になります。とは言っても月に2回ですからまだ10回ほど体験したに過ぎません。

「チェーンソーは使いません」「草刈機は使いません」と聞いているので安心して作業ができます。ヘルメットも鋸も準備してくれているので 身一つで参加できます。

近鉄奈良駅からバスで650円（往復1300円）が年金生活者にはちょっとした出費ですが、他の参加者の車に便乗することも出来ます。

午前は10時頃から2時間、午後は1時ごろから2時間、与作たちは木を切ります。ヘイヘイホー ヘイヘイホー

遠くでシジュウカラが鳴き、近くでエナガがつぶやきます。倒れた木に代わって太陽が顔を覗かせ、風が通り過ぎます。

♪♪「お山の杉の子」

むかしむかしその昔 椎の木林のすぐそばに 小さなお山があったとさ
あったとさ

丸々坊主のはげ山は いつでもみんなの笑い者

「これこれ杉の子起きなさい」お日様にこにこ声かけた 声かけた

♪♪「与作」

与作は木を切る ヘイヘイホー ヘイヘイホー
こだまはかえるよ ヘイヘイホー ヘイヘイホー
女房は機を織る トントントン トントントン
気立てのいい嫁だよ トントントン トントントン



与作になってみたい方はどうぞお気軽に忍辱山へお越し下さい。
道具は何とでもなります。



地域情報



★平城旧跡ツバメの寝ぐら入りが見られました。8月の初旬から下旬にかけて、夕刻6時30頃より7時10頃まで日没と同時に、再建工事中の第二大極殿前の葦原に入ります。約2万羽（誰が数えたのでしょうか？）が乱舞する華麗なショウが約30分間繰り広げられます。（中旬頃が一番見ごたえあり） 大寺

・（大寺さんに教えてもらい早速見に行きました。）本当に空一面多い尽くすのではと思えるほどの数です。南へ帰る準備なのでしょうね。 勝田

4月18日

標高1000mのヤクスギランドに向かうが、ポツリポツリ 雨が当たってきた。苔むしたうっそうとした森に遊歩道が整備されており、森の成り立ちや、江戸時代に屋根の平木を作るために伐採されたことなど学習。自然休養林の森を、ここでも樹齢1000年を超える多くの屋久杉に出会いながら、1時間20分散策。針葉樹に混じりリンゴツバキやカシ、ナナカマドやハリギリなども混生しており、時間が許せばもっと日本の森林の原型といわれるこの森をゆっくりウォッチングしたいと思います。

屋久島環境文化センターでは大型スクリーンで映像を観たり（半分ウトウト）島の紹介や暮らしぶりを聞いた後、すっかり屋久島を気に入ってしまったKさん、屋久島環境文化財団友の会ファンクラブに入会したのだ。昼食はこの食堂でユニークなトビウオの姿焼きを頂く。雨も上がってきた。

400m×200mの一枚岩の花崗岩に落差66mの豊富な水量を誇る滝が、一気に流れ落ちる大川の滝（オオコ）は迫力があります。※5月4日 ここで沢登りをしていた人3人が増水で川に流され死亡したというニュースをご存知の方もいらっしゃるかと思います。

4月19日

残念ながら朝から雨。林芙美子は小説浮雲で雨の多い屋久島を「月に35日雨が降る」と描写したが・・・

旅の本に掲載されていたパン屋さんに立ち寄る。（朝食を済ませたというのに、よく入るネ）石楠花園に入ったがお目当てのヤクシマシャグナゲはまだ咲いていませんでした。

雨も小降りになり、西部林道で出会ったヤクザルにカメラを向けた。とたん、ギヤーの声とともに歯を剥きだした親ザルが攻撃に出て来る。慌てて車を発進。怖かったよー
矢筈岬 何かいい匂いがしてくるでは有りませんか。木の向こうから声がかかります「オーイ、おいで、一緒に食べよう」見ると10名ほどが大きな鍋を囲んでいいご機嫌です。遠慮なく4名匂いにつられて 貝や魚、野菜の入った鍋汁や焼酎（三岳）思いがけないご馳走にありつきます。中でもカメノテ（貝）が美味しく、いいおだしの汁は3杯もお替わりしてしまっ。「又おいで」の優しい気さくなM建設の皆様ご馳走様でした。又伺います。

4月20日

さあ最終日です。昨日の雨は何処へいったの？青空です。

もののけ姫の舞台にもなった白谷雲水峡のトレッキング。林内を流れる清流、重なり合った巨岩、切り立った溪谷。最高峰宮之浦岳への登山口でもあり、三本足杉、ビビンコ杉、くぐり杉を経て、昨日の雨でいっそう苔が美しく、幽玄の世界に引き込まれながら辻峠まで登り、ここから一気に急坂をふんばり、太鼓岩を目指します。

ワンドフル！！ この眺望 皆様にお見せしたい。大台の大蛇岩のスケールを大きくした感じかな。この素晴らしい残像を臉に下山です。

屋久島は平成5年わが国初の世界自然遺産として登録されました。自然を守り、自然と共存し、未来に引き継いでいきたいとあらためて思いました。

森と林と木



寺田正博

「木」が一本の木を指すことは容易に想像出来るが、「林」と「森」の区別は難しい。木が集まれば林で、もっと集まれば森？ そう単純なものではないらしい。狭くても鎮守の森、かつての武蔵野のような広大なものでも雑木林、である。

広辞苑には、森は、樹木が茂り立つ所。林は、樹木の群がり生えた所。と記載されておりほとんど区別がされていない。漢語にも杜と林があり、英語ではwoodとforest、ドイツ語でWaldとForst、それぞれ森と林にあたり、この問題は万国共通のようである。人工林のように木の高さが揃ったものが林で、原生林に見られるような大小の木で出来ているものものが森、ともいう。字面からはそんな感じである。平地のものが林で、山のもものが森、ともいう。東北地方には、大鷹森とか大黒森とか、山の代わりに森の字を使った山の名も多い。

林は明るく、森は鬱蒼とした感じ、という分け方もある。また、木々が「盛り」上がったものが森で、人が「生やし」たものが林だともいうが、あまりあてにならない。

要するに確かな区別不明、森林と呼ばれるためにも幾つかの条件がある。まず、高木で構成されていること。高木とは背が高く、幹と枝の区別がはっきりしたもののこと。その逆の背が低くて幹枝の区別のつかないものは低木である。つぎにお互いの枝がふれあってそして、そんな状態がある程度の面積的広がりを持つこと、である。

包括的に定義すると、「森林とは高木性の樹木がある程度以上の密度をもって、ある程度の広がりを持ち、それに特有の生態系を形成しているもの」ということができる。

したがって、並木や数本の寄せ植えはいくら樹高が高くても森林とは呼ばないし、広大にぎっしりと植わっていても、ツツジの植み込みは森林ではない。高山のハイマツ林とはいうが、背が高くないから、これも森林ではない。

いろいろな森林の意味

☆原生林（原始林）…今まで人手が加わったことがなく、過去に重大な災害等の被害のない森林といってよい。処女林ともいう。（*virgin forest*）

☆天然林…ほとんど自然状態で成立した、あるいはその過程にある森林を指し、原生林、天然生林、二次林、などを包括する。人工林に対する語として用いられることが多く最近では自然林と呼ぶ人もいる。

☆天然生林…伐採を受けたが、その後人手が加わらず、自然のままに再生した森林。

☆二次林…それまでの森林が、天災・人為を問わず壊れた後に自然にできた森林。

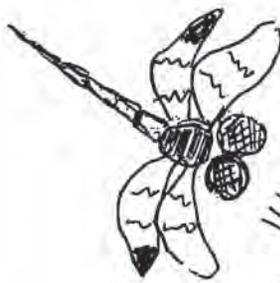
二次遷移（攪乱後の環境に種子や根茎などの繁殖材料が含まれているところで再開される遷移）の途上にある森林。アカマツ林やシラカバ林などがその典型。

☆極相林…遷移の最終、極相に達した森林。環境条件によって、二次林的状態のままの場合もある。

☆人工林…人手によって仕立てられた（人工造林）森林。例…忍辱山国有林

このような術語や合成語になるとほとんどが「森」ではなく「林」を使う。他にも、針葉樹林、熱帯林、保安ん林…。森林や林業を扱う学問も「林学」である。

参考引用文献 「森と人間の文化史」 只木良也 「森との共生」 藤森隆郎 他



行事案内



【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場所〉 奈良市忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分）
（淀川・木津川・白砂川の源流域）

〈日時〉 9月15日（水） 11時20分 第11回

9月20日（祝） 11時20分 第12回

（9時20分にはスタッフは現地におります）

終了は3時頃です

〈交通〉 奈良交通バス [呂地中村行き] 柳生方面

JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④乗り場 忍辱山円成寺

8:26 8:29 9:02

10:40 10:43 11:16

〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）・手袋・スパッツ・鋸・弁当・飲み物他
用具は当会にて多少は用意しております

◎作業中は長袖シャツ・長ズボンを着用して下さい

〔未経験者は基本より指導いたします〕

【お願い】 植物・生物の調査をして頂けませんか。（約1.5ヘクタール）

〈連絡先〉 弓場厚次

阿部和生

寺田正博

【林床植物】

森林内の地表に近い場所 生育する植物。階層構造では草本層、コケ層に所属するものを指すことが多いが、低木層を含める場合もある。高木層の種類に対応して林床植物も変化する。気候帯の違いに対応することは同じだが、高木層が異なることにより、林床照度の季節変化や落葉の違いが林床植生に反映される。土壌の養分、水分の違いに対する反応は林床植物の方が顕著であるため、林木の成長の善し悪しをしめす指標植物とすることができる。すぎ人工林ではツリフネソウ、ウワバミソウ、イノコヅチ、アオキなどが林床にみられると、土壌が深く水分に富むため、スギの成長がきわめてよい場所であることがわかる。反対に、ヒカゲノカズラ、ヒカゲスゲ、ヤマツツジ、アセビなどの存在は、土壌の栄養分が少なくスギの成長が不良であることを示す。

〔階層構造〕 構成する植物の生活形や生育段階に応じて、葉層の垂直的な配列の状態がなす植物群落の断面構造。とくに森林においては、群落の高さが大きいため、環境に対する要求度の違った多くの植物種が群落内の様々な高さに展開しており、階層構造の発達が顕著である。森林の最上層は、高木の樹冠が連続して林冠をなし、高木層と呼ばれる。下方には低木層、草本層、地表のコケ層（地表層）と続くのが基本的な形である。

〔生活形〕 地上植物 休眠芽が地上にある樹木など

地表植物 地表近く越冬する草本類など

地中植物 地中の球根などで越冬もの

1年生植物 休眠芽をつくらず枯れてしまうもの。等に分けられる。



ネイチャー なら
奈良・人と自然の会
第1.1回 東海自然歩道・自然観察会

7月の「滝坂の道」に引き続き、忍辱山円成寺から初秋の柳生街道を辿り、剣豪の里・柳生に向います。満開のセンニンソウやツリガネニンジンの群落が迎えてくれます。

〈コース名〉 ⑪ 柳生街道 [7km]
〈日時〉 9月21日(火) 10時30分 集合
〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩像前

近鉄難波 [奈良行急行] 9:41発…鶴橋9:47…西大寺10:17…近鉄奈良10:22着

* JR奈良経由の方: 奈良交通バス・JR奈良駅◎番乗場 10:40発 邑地中村行に乗車 可

〈行程〉 近鉄奈良駅(バス)忍辱山円成寺…夜支布山口神社…柳生(バス)近鉄奈良
〈担当〉 阿部和生 寺田正博 弓場厚次



ネイチャー なら
奈良・人と自然の会

[9月度例会] 仏隆寺(彼岸花)から室生寺 自然観察会

仏隆寺は空海の高弟、堅恵の創建。大和茶発祥の地とも言われる古刹です。春は県下最古のヒガンザクラ、秋は石段の両脇を彼岸花が色を添え大変賑わいます。ここから室生寺まで秋色の気配を楽しめます。

〈日時〉 : 9月22日(水)
〈集合〉 : 近鉄榛原駅 南口 午前9時30分
〈交通〉 :

・ 西大寺 [榎原神宮前行急行] 8:41…八木9:05(乗換)

・ 近鉄難波 [東生駒行] 8:30…鶴橋(乗換) [青山行急行] 8:38…八木9:14…榛原9:27着

〈担当〉 大寺道代 小田久美子



10月例会 秋の明日香路を・・・

～秋・たけなわの明日香路をオリジナルコースで散策～

石の文化と明日香の自然!! 何時行っても心癒される明日香へ気軽にお出かけください。

〈日時〉 10月21日(木) AM10:10

〈場所〉 近鉄飛鳥駅前

近鉄あべの駅発9:20→飛鳥駅着10:05

近鉄西大寺駅発9:21<榎原神宮駅乗り換え>→飛鳥駅着10:05

〈コース〉 飛鳥駅前→公園館→中山古墳→朝風峠→稲淵→マラ石→石舞台→橘寺→
亀石→鬼の雪隠→猿石→飛鳥駅

〈天候〉 前夜のNHK20:45の予報で奈良北部50%以上の降水確率では中止

〈持ち物〉 弁当・水筒・観察用具・雨具

〈担当〉 樋口 善雄



ネイチャーなら

ネイチャーなら 奈良・人と自然の会

第1.2回 東海自然歩道・自然観察会

昨年10月、第二回シリーズとして「曾爾高原」からスタートした東海自然歩道・自然観察会も12コースを一本の道としてトレースし、今回「笠置山古道」でエピローグを迎えました。剣豪の里「柳生」から後醍醐天皇ゆかりの地「笠置山」に向います。

〈コース名〉 ⑫ 笠置山古道 [7km]
〈日 時〉 10月27日(水) 9時30分 集合
〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩像前

・ 近鉄ナンバ〔奈良行快急〕8:51発…鶴橋 8:57…西大寺9:23…近鉄奈良9:28着

* JR奈良駅経由の方：奈良交通バス・JR奈良駅③番乗場利用可

〈行 程〉 近鉄奈良駅…柳生～笠置寺～JR笠置駅…JR奈良駅

〈担 当〉 樋口善雄 寺田正博 弓場厚次

* 奈良交通バス:2004臨時バスの時刻は9月10日に発表のため、正式時刻は機関紙33号にて報告。

【いこま棚田クラブ】

(教育実習認定行事) 定員10名

講座生の方はアシスタント経由お申し込みください。

いこま棚田クラブ

生駒棚田通信

奈良街道から見下ろす復活田(田圃)の稲穂が青々と風に波打っています。(秋の収穫が楽しみです。)

田圃の竹垣が好評。イノシシ除けのトタン柵をネット(網)に替える案もでています。



- ・ 棚田の雑木林にネイチャートレイル(自然散策路)を作ろう。
(教育実習として参加者が6名以上集まった時に、常緑樹の整理伐、玉きり、階段作りを継続して行う。)
- ・ もうすぐ秋。稲刈り(9/E)、脱穀、いもほり、倒木ヒノキの皮むきと運び出し・・・秋の農事が目白押し
- ・ 里山/棚田の現状を知ろう。(8/27金 田中淳夫氏(作家・森林ジャーナリスト)講演会を大阪NPCセンターで開催。)
- ・ 10月には地元生駒南小学校生を招いて「サツマイモ掘りと棚田体験」が予定されています。
- ・ いこまの棚田米は如何ですか。現在、予約を取っています。(玄米30kg 約10,000円)

◆ 9月活動日 第62回 9/5(日) 第63回 9/13(月) 第64回 9/19(日) 第65回 9/27(月)

◆ 10月活動日 第66回 10/3(日) 第67回 10/11(月) 第68回 10/17(日)

第69回 10/25(月) 第70回 10/31(日)

(集合時間をセブンイレブン前 9:00としていますが9:30発もありますので無理な方は申し出て下さい。)

◆ 集合場所 近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル駅 西隣りセブンイレブン前

集合時間 9時00分 現地まで車で移動(15分)

◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈り鎌(有る人)

お願い：生駒駅からは車で移動します。参加者は事前にtelまたはfaxで下記までご連絡願います。

事務局 大寺道代

生駒棚田米（きぬのひかり）販売のお知らせ

生駒西畑地区（いこま棚田クラブ活動地区）で生産された生駒棚田米を、特別に分けていただけることになりました。森林ジャーナリスト、田中淳夫氏も、「生駒棚田米は奈良で一番おいしい」と賞賛されています。

玄米	30kg	10000円
白米	10kg	4000円

配達方法は、持ち帰り（いこま棚田クラブ渡し）、宅急便着払い、からお選びください。

ご希望の方は、下記の申込書に所定の事項をご記入の上、FAXで事務局（大寺道代、TEL & FAX
へお申し込みください。申し込みは9月10日（金）までをお願いします。

生駒棚田米購入申込書

申込者氏名					
住所	〒				
電話					
e-mailアドレス					
	重量	数量	単価	金額	配達方法
玄米	30kg		10000円	円	持ち帰り 宅急便
白米	10kg		4000円	円	持ち帰り 宅急便
			合計額	円	

宅急便送付先が申込者と異なる場合

氏名		
住所	〒	
電話		